

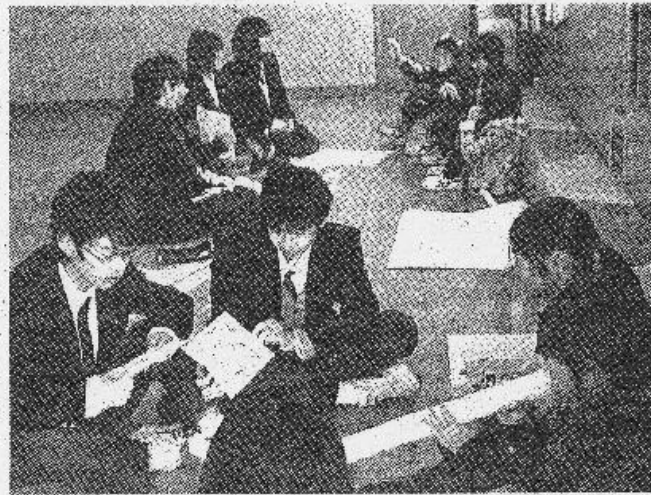
# 和気あいあいとした授業交流

12月に実施しました九久平小学生との授業交流が

新三河タイムスに掲載されました。

## 地域の自然見直す

松平高 九久平小児童と里山整備



小学生と授業交流を行う高校  
生ら12月19日、九久平小で

地域に愛される学校を  
目指す松平高校（阿知和  
聖二校長、生徒数589  
人）では「見直そう松  
平の自然」を合い言葉に、  
さまざまな交流活動を行  
っている。

物多様性」の観点で、2  
年1組の40人が7月に愛  
知学泉大の矢部隆教授と  
豊田自然観察の森の畑  
孝二所長の講演を聞き、  
11月に地元の九久平小学  
校（梅村悦子校長、児童  
数226人）で5年生児  
童と共に小学校裏の里山  
を整備し、12月にも4年

生児童と松平の自然につ  
いて授業交流を行った。  
授業交流では、生徒ら  
は児童にわかりやすく伝  
えるため、紙芝居やクイ  
ズ形式で説明し、小学生  
も巴川や上流の滝川の水  
生昆虫などを模造紙にき  
れいにまとめて発表。和  
気あいあいとした雰囲気  
で行われた。  
授業交流を行った2年  
の清水貴裕さんは「自分  
がこのような自然環境の  
中にいることを改めて知  
ることができた」、同水  
越日菜さんは「松平の自  
然を大事にしようと伝え  
合えて良かった」と感想  
を話した。

阿知和校長は「さまざま  
な活動を地域の皆さん  
の支援のもと実施するこ  
とで生徒のコミュニケー  
ション能力の育成につな  
がっている。今後も地域  
に愛される学校を目指し  
たい」と語る。  
その他にもクラスごと  
に、松平こども園の園児  
と一緒に花壇整備や球根  
を植え付け交流を図った  
り、松平交流館や松平橋  
付近、同校裏里山など地  
域での清掃ボランティア  
活動を実施した。

【岡田さち代】